

# 一般国道6号 茨城県北茨城市～福島県いわき市間 なこそ (勿来バイパス) 計画段階評価 第3回 説明資料

1. 前回委員会の概要	・・・	1
2. 地域からの意見聴取結果（第2回）	・・・	3
3. 対応方針（案）の検討	・・・	20

# **1. 前回委員会の概要**

◆東北・関東地方合同小委員会開催状況

第1回東北・関東地方合同小委員会〔平成25年6月4日開催〕、第2回東北・関東地方合同小委員会〔平成25年10月4日開催〕

◆第2回小委員会の主な議事内容

- ① 地域からの第1回意見聴取結果
- ② 整備方針(ルート帯案)の検討
- ③ 地域からの第2回意見聴取方法案
- ④ 今後の計画段階評価の進め方案

●第2回 東北・関東地方合同小委員会での主なご意見と対応状況

主なご意見		対応状況
<b>【第1回意見聴取結果について】</b>		
・自由記述について、「道路整備が必要だと思わない理由」の回答が多く感じる。「整備が必要だと思う理由」の方が多と思われるため、交通関連など同様の意見の件数を記載することにより全体のボリュームが分かる。		・自由記述の分類毎、同様の意見数を記載。
<b>【ルート帯案の概要について】</b>		
項比 目較	・ルート帯案の比較表について、工事期間や工事による交通規制など、生活に係わる影響も記載し比較すべき。	・比較表に「生活環境への影響」として移転家屋数の外、施工時の影響も評価。
評価 の 記載	・ルート帯案比較の観光地等へのアクセス性について、「バイパスだから遠くなる」のではなく、バイパスへ交通が転換することにより「現道の交通量が減り、アクセス性が向上する」と言えるのではないか。	・「アクセスができない」という表現から「アクセスが限定的となる」という表現に修正。
	・ルート帯を設定する上でコントロールポイントである鉄道駅や観光地などは、主要な箇所からも離れ過ぎないということもあるのではないか。そう考えると比較表でバイパス案はポジティブに記載すべき。	・国道6号から沿道施設へのアクセスのしやすさについて、具体的な記述に修正。
	・当該区間にバイパスが整備された場合に、その前後区間の道路状況(車線数など)等も必要な情報のため、分かり易くする工夫すべき。	・ルート帯案の図を車線数が判断できる様に修正。
<b>【第2回意見聴取方法について】</b>		
対象 者	・国際バルク港湾である小名浜港や鹿島港などを結びつける重要な路線であり、当該区間はエネルギー分野でも重要と考える。企業アンケートには物流、エネルギー、食料関連の企業も対象に入れるべき。	・発電所やエネルギー事業者を追加。
	・前回のアンケート回答者は高齢者の割合が高く、自動車を利用する人からの回答が低いと思われるため、今回のアンケートには「普段自動車を運転される方がご記入下さい」と注意書きを入れるなど工夫すべき。	・意見聴取の充実を図るため、コミュニティFMでの広報を実施。
質 問	・重視する項目の質問について、全体的に「〇〇な道路」という表現でなく整備効果を表現する記載、例えば「交通事故を減らせること」などのように記載を検討すること。	・選択肢の表現を「交通事故が少ない」などに修正。
	・第1回アンケート結果の妥当性についての質問で、妥当と選択した人しか「重視すべき項目」を回答出来ない記載であるが、幅広く回答できるようにすべき。	・「重視する項目」は全ての方が回答できるよう修正。

## **2. 地域からの意見聴取結果 (第2回)**



# 2-2. 意見聴取概要

アンケートの配布・回収方法、配布・回収部数等は以下のとおり【11/27(水)～12/17(火):3週間】

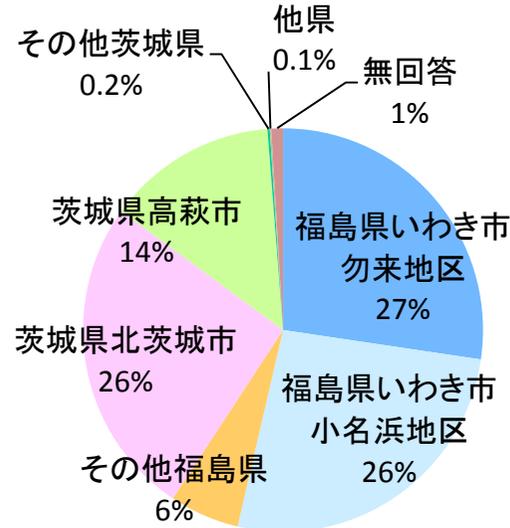
住民アンケート : 郵送配布・回収とWeb回答		茨城県			福島県			左記 以外	合計
		高萩市	北茨城市	不明 その他	いわき市		不明 その他		
					勿来地区	小名浜地区			
住民 アンケート	配布数(部)	12,637	18,853	—	20,406	31,225	—	—	83,121
	回収数(部)	1,623	2,981	14	3,191	3,081	617	115	11,622
web	回収数(人)	32	117	7	99	88	62	13	418

企業アンケート：郵送配布・FAX回収		配付数		回収数	
茨城県	茨城県トラック協会 県北支部所属企業	4	1社	1	4社
	茨城県バス協会 高萩市・北茨城市内営業企業	3	社	2	社
	茨城県ハイヤー・タクシー協会 県北交通圏 高萩地区、日立地区所属企業	8	社	3	社
	消防本部 高萩市・北茨城市	2	署	1	署
	発電所	3	社	1	社
	経済団体（商工会・JA・観光協会）	5	団体	4	団体
	医療機関	3	施設	3	施設
	教育機関（高等学校）	2	校	2	校
	観光事業者	5	社	2	社
福島県	福島県トラック協会 いわき支部所属企業	1	22社	3	9社
	福島県バス協会 いわき市内営業企業	5	社	—	
	福島県タクシー協会 いわき支部所属企業	2	5社	2	社
	消防本部 いわき市	1	署	1	署
	発電所・エネルギー関係	3	社	—	
	経済団体（商工会・JA・観光協会）	4	団体	3	団体
	医療機関	3	施設	1	施設
	運輸関連業者	4	社	2	社
	教育機関（大学・高等学校）	4	校	1	校
	観光事業者	3	社	1	社

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（1/8）

- ◆住民アンケートは、住民11,622人、Webアンケート418人、合計12,040人の回答を得た。
- ◆回答者の地域区分では、福島県側約6割、茨城県側約4割であった。

## 回答者の地域区分

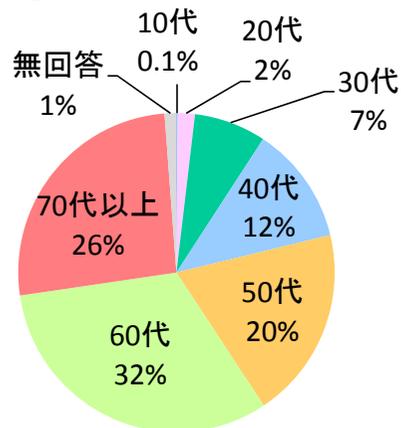


総回答者数 12,040人

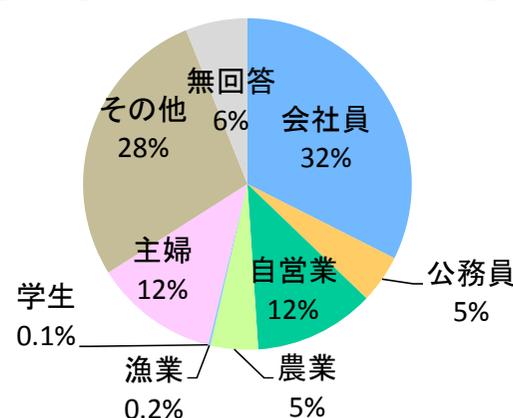
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

## 住民アンケートにおける回答者属性

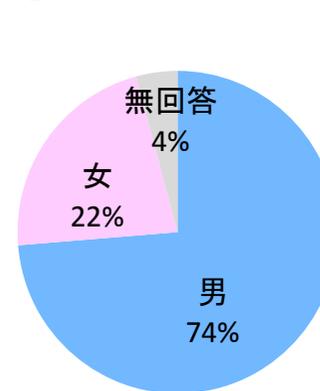
### 【年齢】



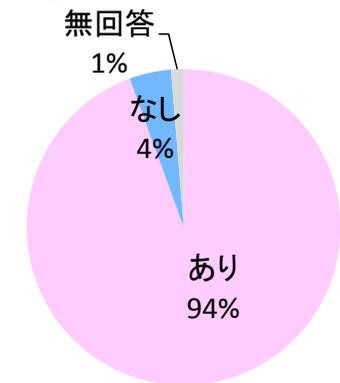
### 【職業】



### 【性別】



### 【運転免許】



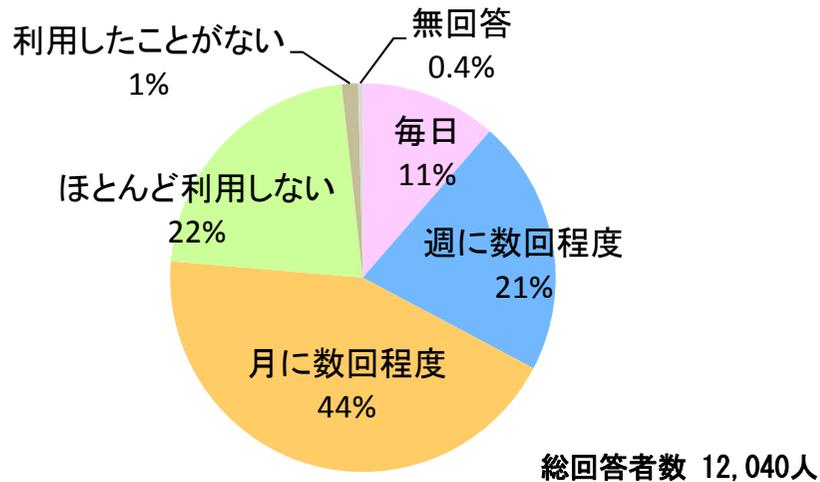
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。 総回答者数 12,040人

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（2/8）

- ◆利用頻度では、北茨城市からいわき市間を月に数回～毎日利用される方が約8割。
- ◆利用目的では、「家事・買物」や「観光・レジャー」がそれぞれ半数を占める。
- ◆今回のアンケート回答者の内、第1回アンケートに回答された方は約7割であった。

## 国道6号の利用頻度

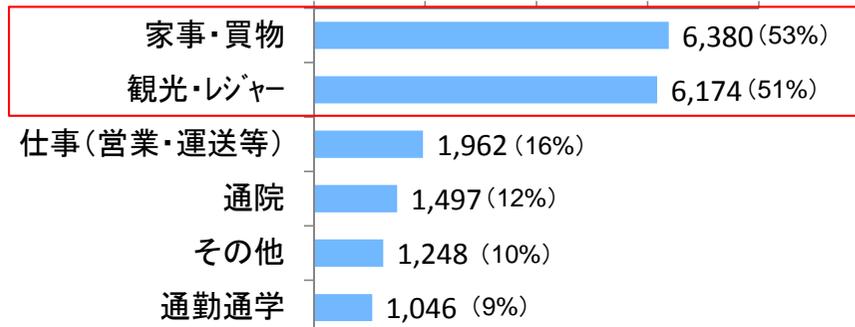
【質問①】国道6号（北茨城市からいわき市間）の利用頻度について、回答して下さい。



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

## 国道6号の利用目的

【質問②】北茨城市からいわき市間の主な利用目的について、回答して下さい。（複数回答可）

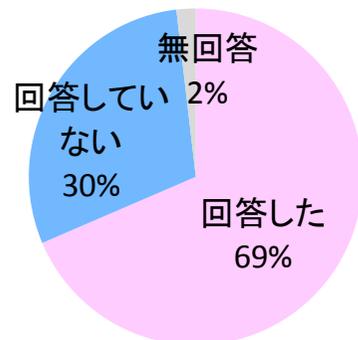


（その他内容：帰省、親戚宅訪問、子供の習い事 等）

総回答者数 12,040人

※（ ）は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答者数の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

## 第1回アンケートの回答有無



総回答者数 12,040人

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

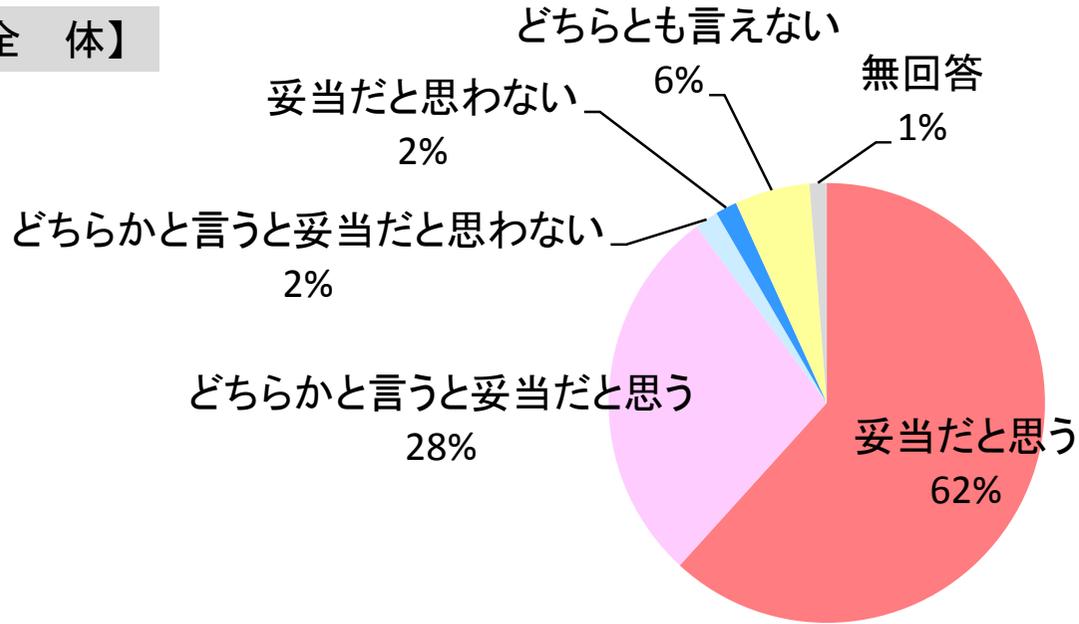
# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（3/8）

◆前回アンケートの結果（国道6号の課題、道路整備の必要性）について、約9割の方が妥当だと思っていると回答。

## 道路整備の必要性（前回アンケート調査結果の妥当性）

【質問③】 第1回アンケート調査結果について妥当だと思いますか？

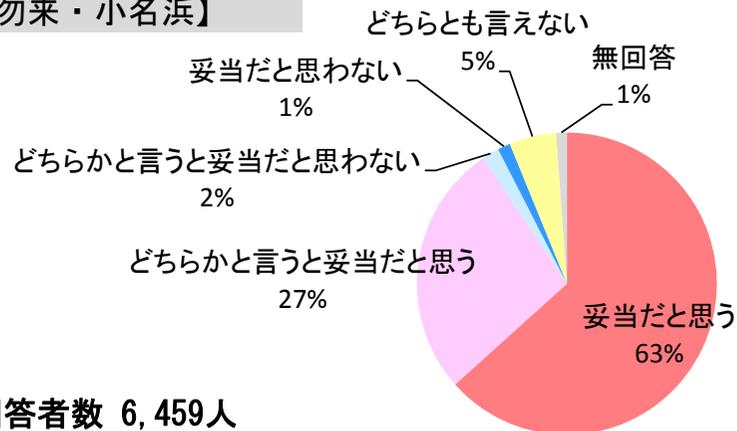
### 【全 体】



総回答者数 12,040人

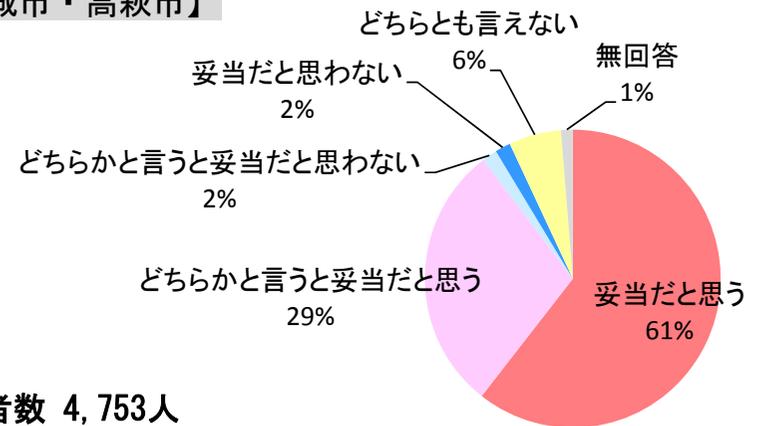
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

### 【勿来・小名浜】



総回答者数 6,459人

### 【北茨城市・高萩市】



総回答者数 4,753人

※回答者数はその他地域、不明を除くため、合計は総回答者数とならない。

## 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（4/8）

【質問④】 妥当だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

分類	主な意見
現在の道路で十分 【130件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>一時的な渋滞なので、それほど不満も不安もない。</u></li> <li>・ <u>利用目的が観光・レジャーが半数で、課題緊急性がそれほど感じられない。</u></li> <li>・ 交通量を考えると道路整備は必要ないと思うから。</li> <li>・ 日常的にいつも混雑している訳ではなく、通勤時間帯（朝夕）だけのような気がする。</li> </ul>
アンケートの実施方法が妥当でない 【50件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要だと思う及びどちらかと言うと必要だと思うの意見が大多数のようなグラフになっているが、<u>アンケートに参加しているのは利用頻度の多い人々であり、住人全体の意見を反映しているとは思わないから。</u></li> <li>・ 総回答数が12,000人弱と少ないと感じる。これで決めるのはどうかと思う。</li> <li>・ 必要だと思う人がアンケートに答えていて、必要ないと思う人はアンケートに答えていないと思われる。</li> </ul>
当該区間の利用が少ないため必要性を感じない 【31件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>いわき～水戸、日立までは高速を利用する為ほとんど国道6号は通行しない。</u>以前は混雑はみられず、現在のは避難者増加による一時的なもので今後人口減少もあり必要と思わない。</li> <li>・ 月に1～2回の利用なので不便に感じない。</li> </ul>
その他 【54件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>今後、少子高齢化社会が進展する。自動車中心の考え方での道路整備は理解できない。</u></li> <li>・ 利用者の半数が家事、買い物、レジャー等なのに（日常的利用者ではない）道路整備が必要だと思うが63%であること。</li> <li>・ 税金の使い方という点で道路ばかり偏重した使い方は良くないと思う。他の税金の使い方を止めても賛成かどうか問うべき。</li> </ul>

※自由意見記入数 265件

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（5/8）

◆地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目について、「国道6号の混雑を解消する」、「津波浸水区域を回避し新たな代替路を確保する」の回答が多数を占め、地域別でも同様の傾向。

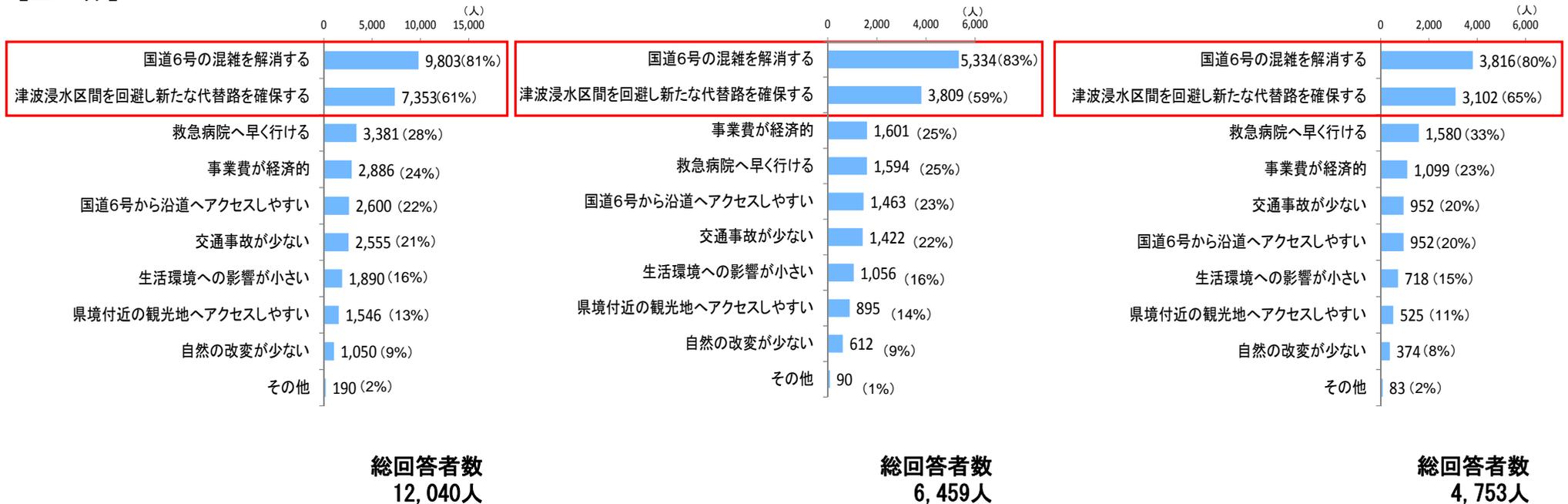
## 地域が望む道路計画の把握

【質問⑤】 地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？（3つ選択）

### 【全 体】

### 【勿来・小名浜】

### 【北茨城市・高萩市】



※（ ）は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答者数の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。  
 ※回答者数はその他地域、不明を除くため、合計は総回答者数とならない。

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（6/8）

## 地域が望む道路計画の把握

【質問⑥】 今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項（自由記述）

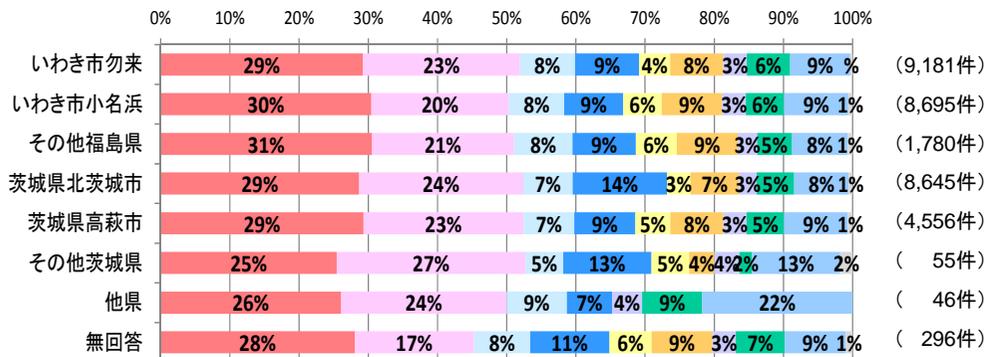
分類	主な意見	※自由意見記入総数 4,137件
交通関連 【919件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>交差点を無くし、交通渋滞の少ない道路にして欲しい。</u></li> <li>・信号を無くし、スムーズな流れをつくれれば事故も無くなる。最近、通勤時間の事故が多く困っている。</li> <li>・はじめから立体交差にするべき。平面交差は渋滞の元。</li> </ul>	
ルート関連 【742件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>国道6号以外の別ルートの必要性があると思います。</u></li> <li>・勿来関公園内の通過を避けて、西側を通るようにして欲しい。</li> <li>・勿来北茨城地区において海のすぐ近くを通るので、この辺は避けた方が良くと思う。</li> </ul>	
災害関連 【581件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>選択できる複数のルートがあれば、災害回避などに適用できて良いと思う。</u></li> <li>・再度大きな地震が起こり津波が発生した際、海岸線を回避し避難できるルートを確認すべきだと思います。</li> <li>・道路そのものを嵩上げし、防波堤にする。</li> </ul>	
生活への影響 関連 【373件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>生活環境等の影響を少なく。</u></li> <li>・工事に伴う生活環境への負担が小さいこと。住民にも望ましいように思います。</li> <li>・騒音対策を充分に行う。</li> </ul>	
環境・景観関連 【355件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>勿来の関を抱えているので、大切な自然を守ることを願います。</u></li> <li>・トンネルや岩山等、自然の景観を残して欲しい。</li> <li>・勿来の関公園、海水浴場などへの道を確保しながら自然の景観を大切に作ってほしい。</li> </ul>	
経済性関連 【307件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>生活環境への影響もさることながら、事業費の大きさも大事なことだと思います。</u></li> <li>・移転家屋補償費などの出費は極力抑え、本体工事に使うべき。</li> <li>・事業費を安く済ませることが出来れば、他の道路なども整備できる。</li> </ul>	
アクセス性関連 【213件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>バイパスより1箇所位、観光地へのアクセスが出来るようにしてほしい(勿来の関公園)。</u></li> <li>・観光地や国道6号からの沿道施設へのアクセスを考慮すべき。</li> </ul>	
その他 【647件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>救急病院に早く行けるには、北茨城市立総合病院予定地の道につながれば良いと思う。</u></li> <li>・早期の整備を希望。</li> <li>・「3つ選び」という事で選び出しましたが、全ての項目が重要だと感じました。</li> </ul>	

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（7/8）

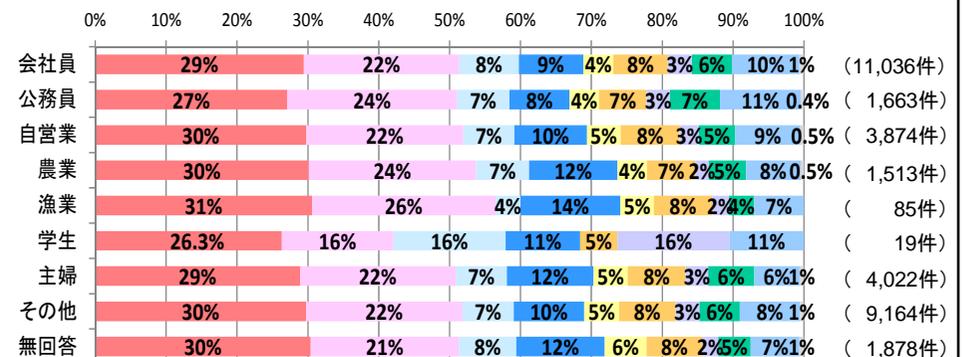
- ◆地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目は、居住地域、職業別においても「国道6号の混雑を解消する」、「津波浸水区間を回避し新たな代替路を確保する」の回答割合が多い。
- ◆利用頻度が低い方の回答も、利用頻度が高い方と同様の傾向。

## クロス集計結果

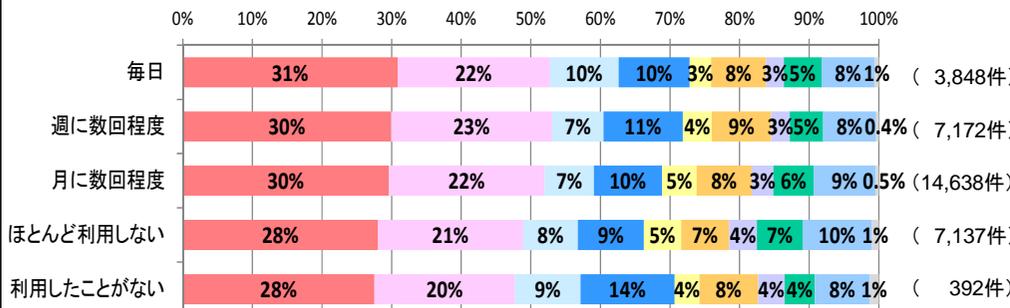
### 【地域区分と重視すべき項目】



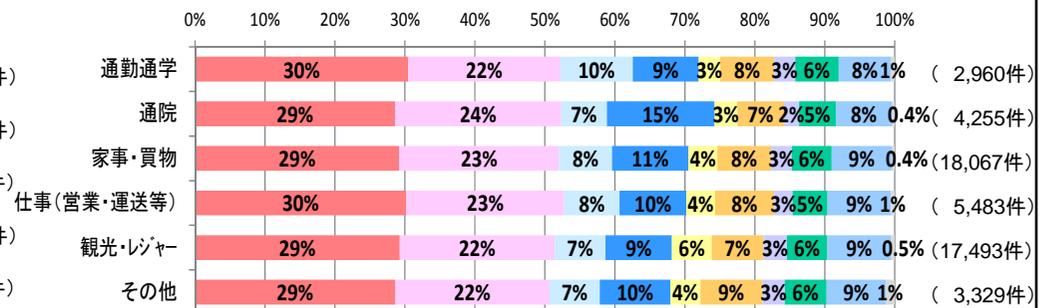
### 【職業と重視すべき項目】



### 【利用頻度と重視すべき項目】



### 【利用目的と重視すべき項目】



### ■ グラフ凡例

- 国道6号の混雑を解消する
- 津波浸水区間を回避し、新たな代替路を確保する
- 交通事故が少ない
- 救急病院へ早く行ける
- 県境付近の観光地へアクセスしやすい
- 国道6号から沿道へアクセスしやすい
- 自然の改変が少ない
- 生活環境への影響が小さい
- 事業費が経済的
- その他

# 2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（8/8）

◆第1回アンケート結果の妥当性及び地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目については、前回のアンケートに回答されていない方も同様の傾向。

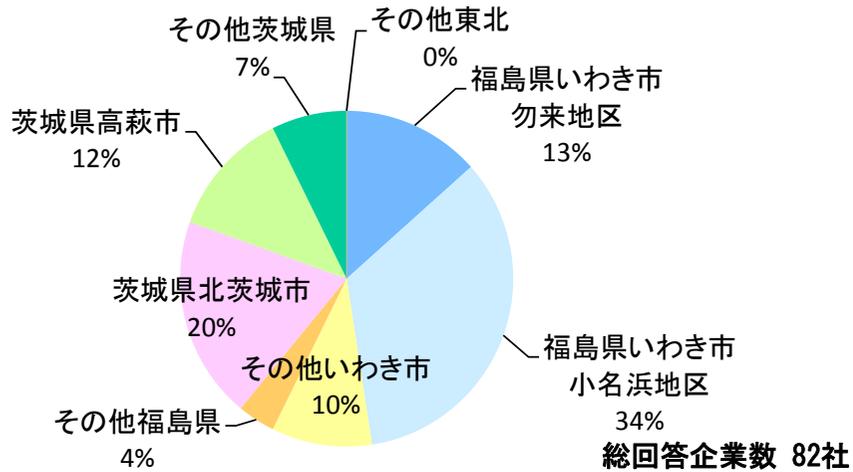
		前回アンケート	
		回答 回答者数 8,255人	未回答 回答者数 3,562人
【質問③】第1回アンケート調査の結果について妥当だと思いますか？		<p>                     妥当だと思う 65%                      どちらかと言うと妥当だと思う 27%                      どちらかと言うと妥当だと思わない 2%                      妥当だと思わない 2%                      どちらとも言えない 4%                      無回答 1%                 </p>	<p>                     妥当だと思う 56%                      どちらかと言うと妥当だと思う 31%                      どちらかと言うと妥当だと思わない 1%                      妥当だと思わない 2%                      どちらとも言えない 8%                      無回答 2%                 </p>
	【質問⑤】地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？	<p>                     国道6号の混雑を解消する 6,782 (30%)                      津波浸水区間を回避し新たな代替路を確保する 5,169 (23%)                      救急病院へ早く行ける 2,323 (10%)                      事業費が経済的 2,051 (9%)                      国道6号から沿道へアクセスしやすい 1,745 (8%)                      交通事故が少ない 1,724 (8%)                      生活環境への影響が小さい 1,304 (6%)                      県境付近の観光地へアクセスしやすい 1,021 (4%)                      自然の改変が少ない 720 (3%)                      その他 114 (0.5%)                 </p>	<p>                     国道6号の混雑を解消する 2,876 (29%)                      津波浸水区間を回避し新たな代替路を確保する 2,084 (21%)                      救急病院へ早く行ける 1,000 (10%)                      国道6号から沿道へアクセスしやすい 818 (8%)                      事業費が経済的 801 (8%)                      交通事故が少ない 801 (8%)                      生活環境への影響が小さい 564 (6%)                      県境付近の観光地へアクセスしやすい 498 (5%)                      自然の改変が少ない 318 (3%)                      その他 71 (1%)                 </p>

※問8未回答者は含んでいない

# 2-3. 意見聴取（企業アンケート）の結果（1/5）

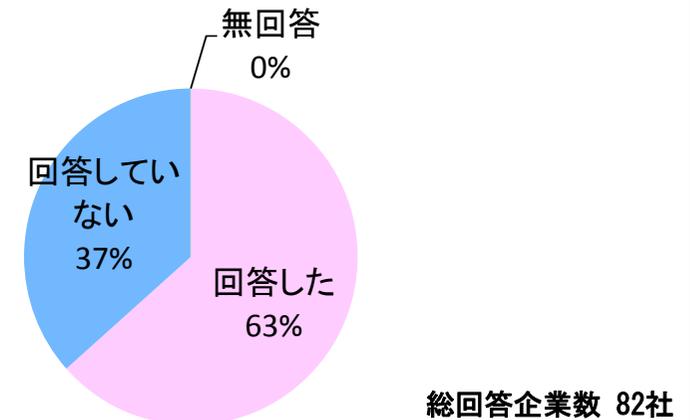
◆回答した企業の約6割は、国道6号（北茨城市～いわき市間）を「毎日利用する」と回答。

回答企業の地域区分



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

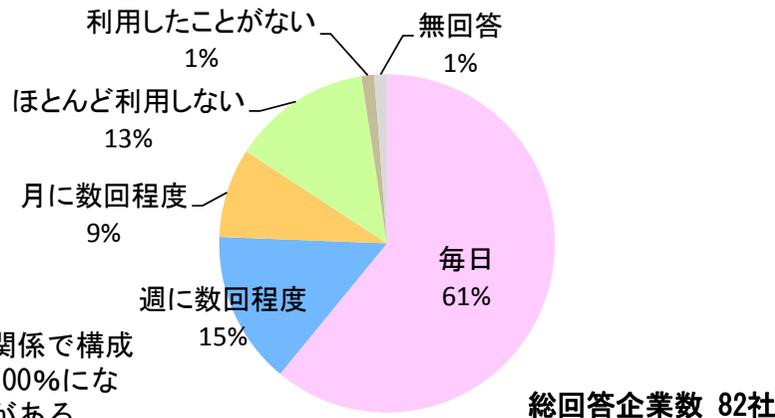
第1回アンケートの回答有無



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の利用頻度

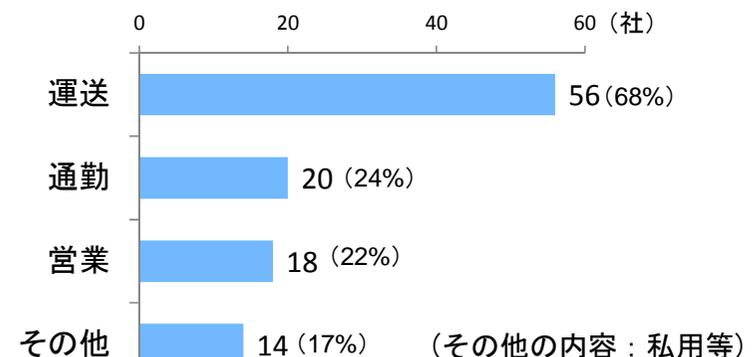
【質問①】国道6号（北茨城市からいわき市間）の利用頻度について、回答して下さい。



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の利用目的

【質問②】国道6号（北茨城市からいわき市間）の主な利用目的について、回答して下さい。（複数回答可）



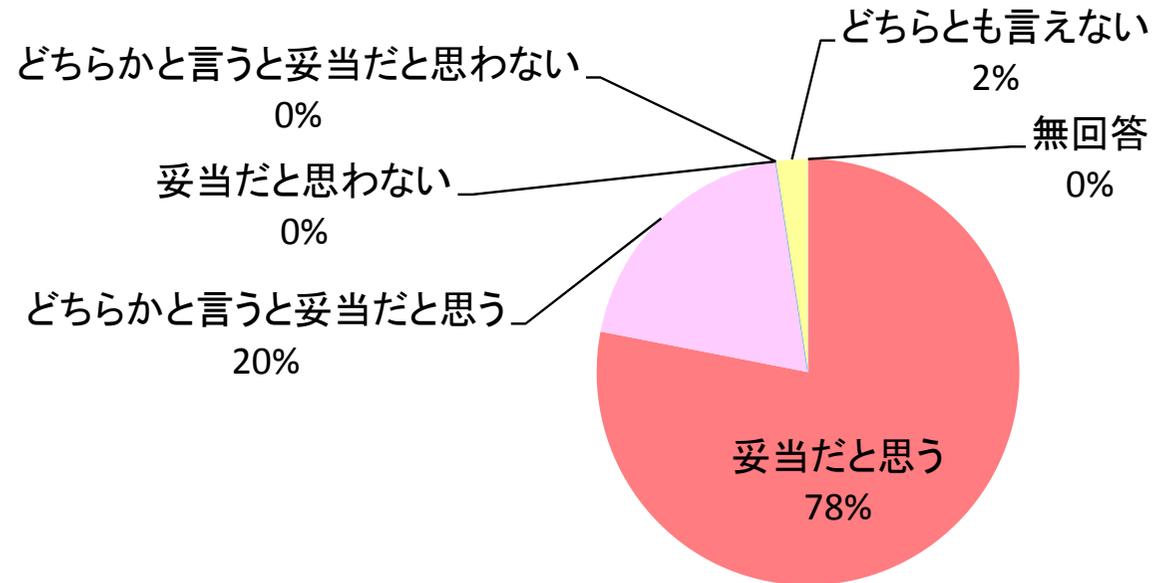
総回答企業数 82社

◆前回アンケートの結果については、9割以上の企業が妥当であると回答。

## 道路整備の必要性（前回アンケート調査結果の妥当性）

【質問③】 第1回アンケート調査結果について妥当だと思いますか？

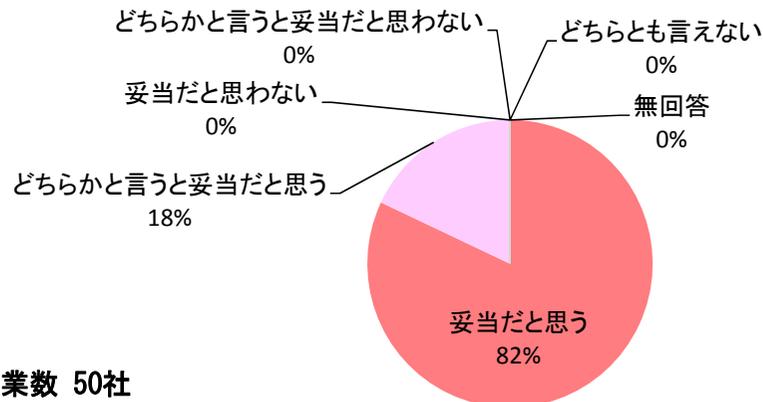
【全 体】



総回答企業数 82社

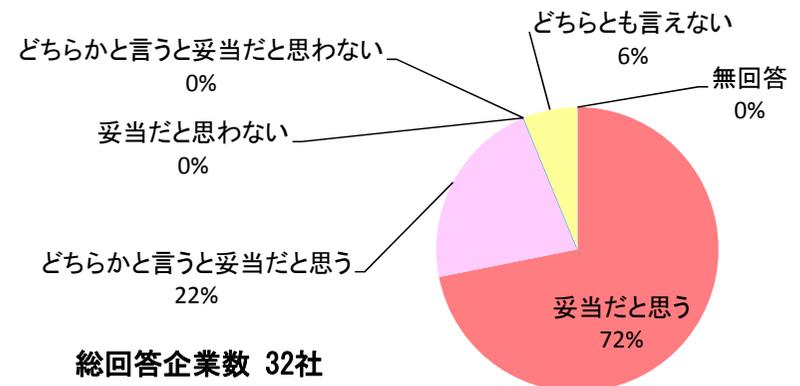
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

【福島県】



総回答企業数 50社

【茨城県】



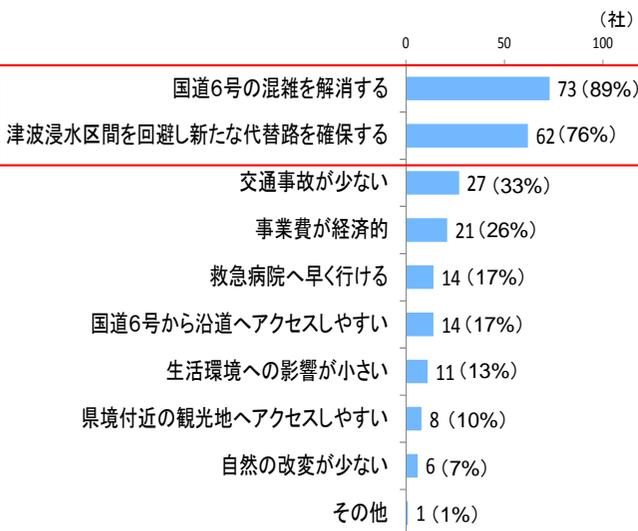
総回答企業数 32社

# 2-3. 意見聴取（企業アンケート）の結果（3/5）

◆地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目について、「国道6号の混雑を解消する」、「津波浸水区域を回避し新たな代替路を確保する」を回答する企業が多数を占め、県別でも同様の傾向。

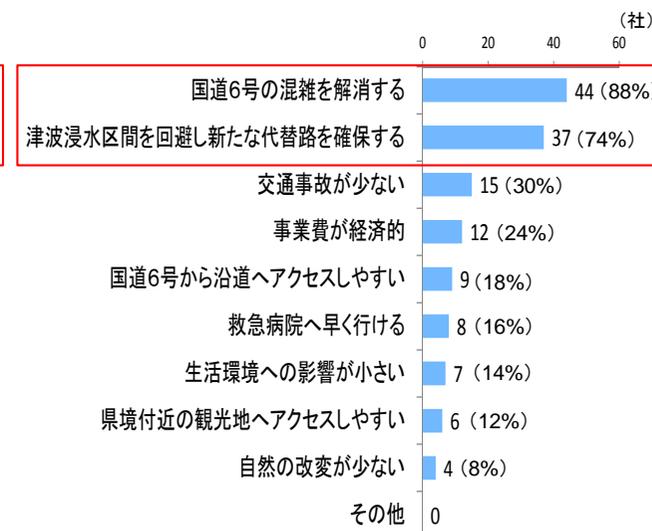
## 地域が望む道路計画の把握

### 【全体】



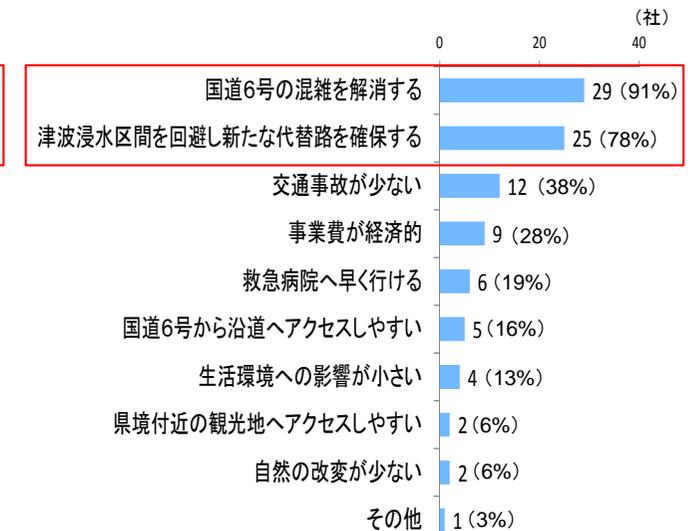
総回答企業数 82社

### 【福島県】



総回答企業数 50社

### 【茨城県】



総回答企業数 32社

※（ ）は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答社数の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

## 地域が望む道路計画の把握

【質問⑥】 今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項（自由記述）

分類	主な意見
交通関連 【9件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>道路幅など安全性を重視していただきたいです。</u>【運送事業者】</li> <li>・ 夜間走行の事故が無くなるよう明かり等を設置して欲しい。事故の無い道路を造って欲しい。【運送事業者】</li> <li>・ 信号機の無い出入口のある<u>バイパス道を望みます。</u>【バス事業者】</li> </ul>
災害関連 【8件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時の国道6号の代替路として必ず通行できる様、土砂崩れ等も想定し建設してもらいたい。【運送事業者】</li> <li>・ 現道拡幅案も4車線化により混雑解消と一部嵩上げするなど津波対策を図れるものと思いますが、<u>先の東日本大震災クラス地震に耐えうるものか…やはり新バイパスを整備し、新たな交通ルートを確保することが重要かと考えます。</u>【医療機関】</li> <li>・ 津波や高波で通行止めになった場合、迂回する道路が遠いのでバイパス道路が必要だと思ふ。【運送事業者】</li> </ul>
その他 【11件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>沿岸側より山側に道路を。</u>【運送事業者】</li> <li>・ もし確保ができるなら、内陸部へ移動させて道路を造る。【運送事業者】</li> <li>・ 茨城の里根神岡上線からバイパスの必要性有り。【運送事業者】</li> <li>・ 自然の改変を極力最小限に留めること。【経済団体】</li> </ul>

※自由意見記入総数 28件

# 2-3. 意見聴取（企業アンケート）の結果（5/5）

◆第1回アンケート結果の妥当性及び地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目については、前回のアンケートに回答されていない企業も同様の傾向。

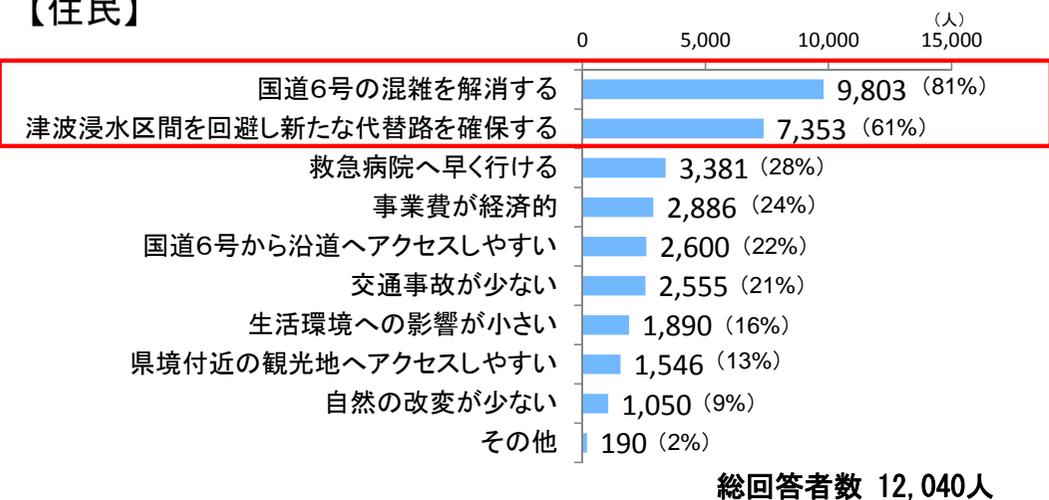
		前回アンケート	
		回答 回答企業数 52社	未回答 回答企業数 30社
【質問③】第1回アンケート調査の結果について妥当だと思いますか？			
	【質問⑤】地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？		

# 2-4. 第2回意見聴取の結果のまとめ

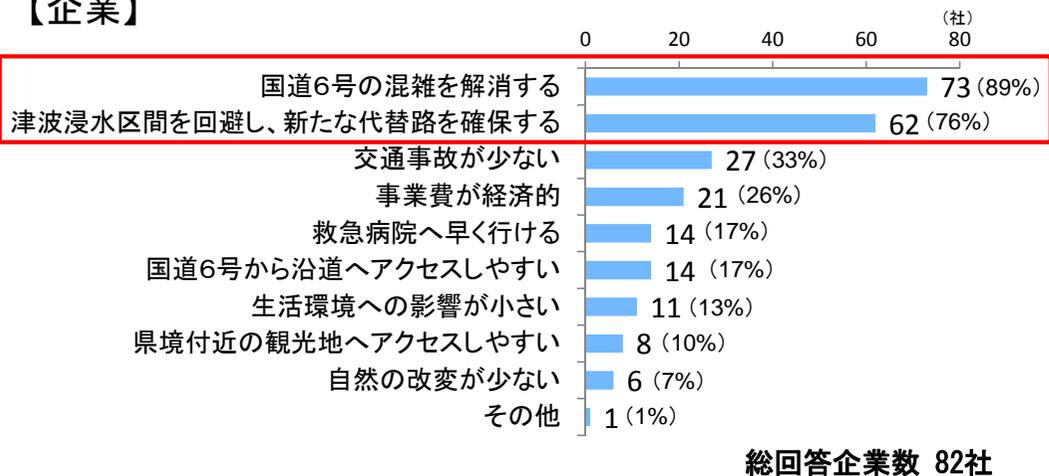
- ◆意見聴取の結果、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目は「国道6号の混雑を解消する」、「津波浸水区間を回避し新たな代替路を確保する」を重視している。
- ◆概ねのルートについて、住民・企業とも津波浸水区間を回避したバイパス案を望む意見が多い。

## 地域が望む道路計画（重視すべき項目）

### 【住民】



### 【企業】



## 今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項

### 【住民】

自由意見記入数 1,149件\*

- バイパスを望む意見 . . . . . 1,086件
  - ・津波が発生した際、海岸線を回避し避難できるルートを確認すべき。
  - ・救急病院に早く行けるには、北茨城市立総合病院予定地の道につながればいい。
  - ・生活環境への影響や自然への改変が少なく、津波の被害から道路を守る上からもバイパス案が妥当と思われます。
- 現道拡幅を望む意見 . . . . . 63件
  - ・現行ルートに沿った形で整備して欲しい。
  - ・海が見えるすばらしい道路です。たくさんの人に今の道路を4車線化して走って欲しい。

### 【企業】

自由意見記入数 9件\*

- バイパスを望む意見 . . . . . 9件
  - ・信号機の無い出入口のあるバイパス道を望みます。
  - ・沿岸側より山側に道路を。  
さとねかみおかみせん
  - ・茨城の里根神岡上線からバイパスの必要性あり。
  - ・先の東日本大震災クラスの地震に耐えるものか、やはり新バイパスを整備し、新たな交通ルートを確認することが重要かと考えます。
  - ・津波や高波で現状通行止めになった場合に、迂回する道路が遠いのでバイパス道路が必要だと思う。
  - ・いわきバイパスから北茨城ICへ直接のルートを確認する。

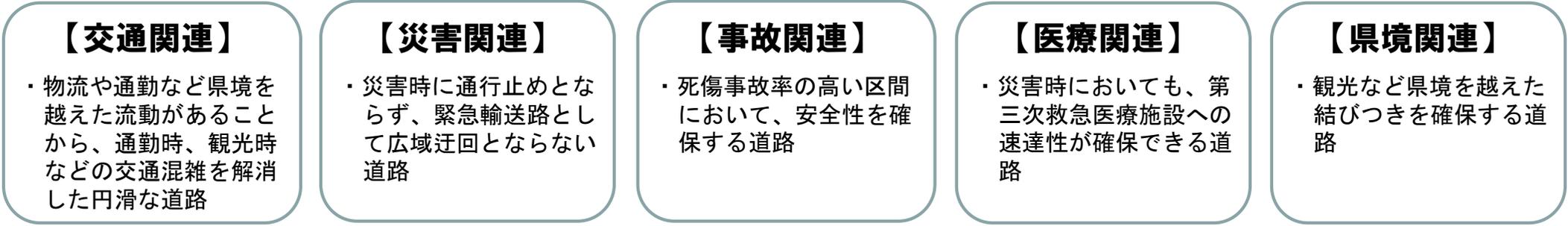
\*配慮すべき事項の自由意見の内、ルート帯を直接述べている意見数

### **3. 対応方針（案）の検討**

◆ 道路交通の現況や地域の課題等を踏まえ政策目標を設定し、政策目標を達成するための機能を有するルート帯を複数案設定。

## 道路交通及び地域の課題

### ◇ 対策案の方針



### ◇ 政策目標

- ① 交通容量を確保する
- ② 北茨城市～いわき市間で災害に強い緊急輸送路の確保
- ③ 交通事故の減少を図る
- ④ 第三次救急医療施設への速達性向上を図る
- ⑤ 県境を越えた結びつきの確保

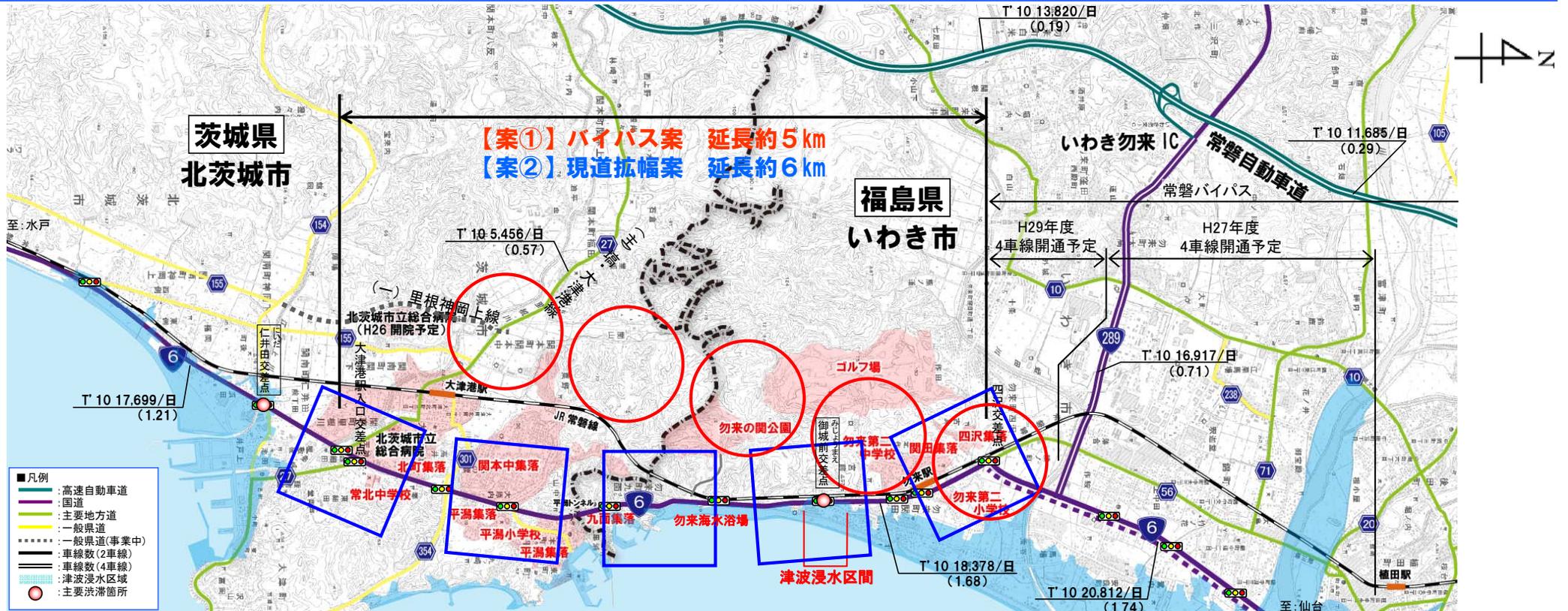
バイパス整備により  
政策目標を確保する案

現道拡幅により  
政策目標を確保する案

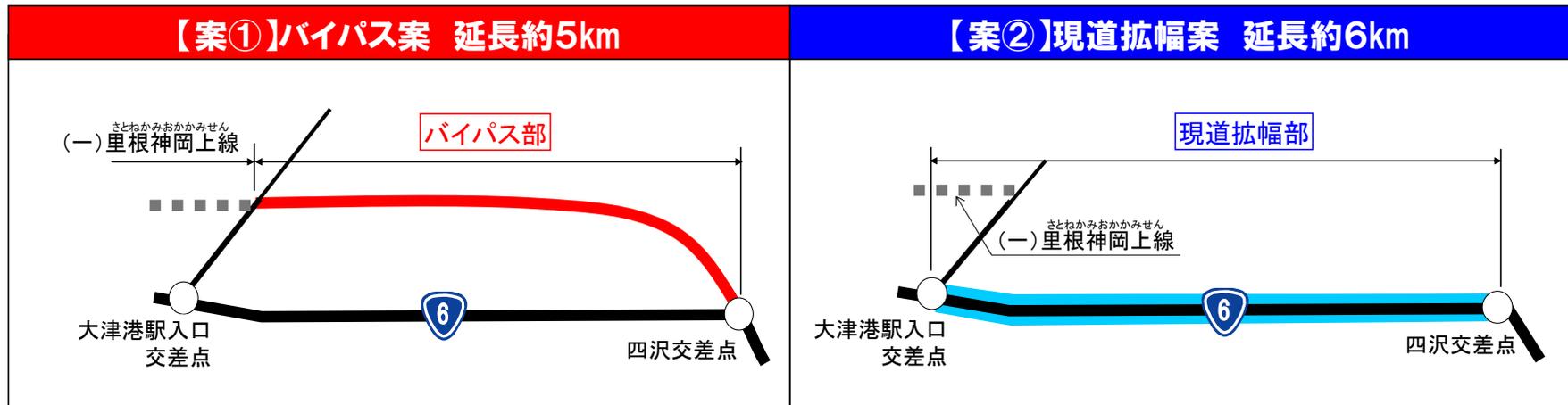
### ◇ 比較案

【バイパス案】	・・・北茨城市～いわき市間の交通を転換し、津波浸水区間を回避したバイパスで整備する案
【現道拡幅案】	・・・国道6号を4車線化により交通容量を確保し、東日本大震災で津波浸水した箇所を一部嵩上げする案

# 3-2. バイパス案と現道拡幅案



## ■整備イメージ



## ■2つの案の比較結果

比較案		【案①】バイパス案 延長約5km		【案②】現道拡幅案 延長約6km	
ルート案の主旨		バイパスを整備する案		国道6号を4車線化する案	
政策目標	交通容量の確保	○	バイパスに交通が転換することにより、国道6号の混雑が解消	○	4車線化により国道6号の混雑が解消
	災害に強い緊急輸送路の確保	○	・津波浸水区間をバイパスで回避する ・新たな代替路が確保される	△	・津波浸水区間の国道6号を一部嵩上げする ・新たな代替路は確保されない
	交通事故の減少	○	国道6号の交通量減少により、交通事故の減少効果がある	○	4車線化に伴う中央分離帯設置により、右折車が制限され追突事故の減少効果がある
	第三次救急医療施設への速達性	○	北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間36分	△	北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間41分
	県境付近の観光地へのアクセス性	△	バイパスは、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスが限定的となる	○	国道6号を改良するため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに優れる
国道6号から沿道施設へのアクセスのしやすさ		△	バイパスにより国道6号の交通量が減少し沿道施設へアクセスしやすくなるが、バイパスからは直接アクセスできない	○	国道6号の沿道施設へ直接アクセスできる（一部嵩上げ区間も乗り入れを確保）
自然の改変		×	山側へ新たな道路を整備するため、自然の改変が多い	△	国道6号を拡幅するため、自然の改変が少ない
生活環境への影響		△	・国道6号から離れるため、工事に伴う生活環境への影響が小さい ・移転家屋が約40～60件	×	・国道6号の拡幅工事となり、交通規制や沿道への騒音など生活環境への影響が大きい ・移転家屋が約260～280件
事業費		○	約170～190億円	×	約230～250億円

※比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。

(○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る)

2つの案の比較結果

比較案	【案①】バイパス案 延長約5km	【案②】現道拡幅案 延長約6km
ルート案の主旨	バイパスを整備する案	国道6号を4車線化する案
交通容量の確保	○ バイパスに交通が転換することにより、国道6号の混雑が解消	○ 4車線化により国道6号の混雑が解消
災害に強い緊急輸送路の確保	○ ・津波浸水区間をバイパスで回避する ・新たな代替路が確保される	△ ・津波浸水区間の国道6号を一部嵩上げする ・新たな代替路は確保されない
交通事故の減少	○ 国道6号の交通量減少により、交通事故の減少効果がある	○ 4車線化に伴う中央分離帯設置により、右折車が制限され追突事故の減少効果がある
第三次救急医療施設への速達性	○ 北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間36分	△ 北茨城市立総合病院～総合磐城共立病院間の搬送時間41分
県境付近の観光地へのアクセス性	△ バイパスは、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスが限定的となる	○ 国道6号を改良するため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに優れる
国道6号から沿道施設へのアクセスのしやすさ	△ バイパスにより国道6号の交通量が減少し沿道施設へアクセスしやすくなるが、バイパスからは直接アクセスできない	○ 国道6号の沿道施設へ直接アクセスできる（一部嵩上げ区間も乗り入れを確保）
自然の改変	× 山側へ新たな道路を整備するため、自然の改変が多い	△ 国道6号を拡幅するため、自然の改変が少ない
生活環境への影響	△ ・国道6号から離れるため、工事に伴う生活環境への影響が小さい ・移転家屋が約40～60件	× ・国道6号の拡幅工事となり、交通規制や沿道への騒音など生活環境への影響が大きい ・移転家屋が約260～280件
事業費	○ 約170～190億円	× 約230～250億円

※比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。  
 (○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る)

○ 意見聴取で重視されている上位の項目

## 対応方針(原案)

**国道6号常磐バイパス起点部から(一)里根神岡上線を結び、主要渋滞箇所・津波浸水区間を回避し、事故減少を図り、救急医療施設への速達性が高い【案①】バイパス案とする。**

理由

○【案①】バイパス案は、政策目標である渋滞解消、事故減少が図られ、医療施設への速達性が優れているとともに、津波浸水区間を回避した新たな代替路を確保できる。  
 また、【案②】現道拡幅案に比べ、家屋移転・工事など生活環境への影響、経済性の面でも優れており、意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられる。

## ◆自治体意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
福島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針（原案）については、異議ありません。</li> <li>・一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間は、広域的な地域間交流等を促進すること及び東日本大震災を踏まえた災害時の避難や物資輸送路としての役割、リダンダンシーの確保の観点から、機能強化が必要不可欠な道路であるため、早期に事業着手されますようお願いいたします。</li> </ul>
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針（原案）について、異議ありません。</li> <li>・本区間においては、東日本大震災の際に津波による浸水で通行止めが生じたほか、福島第一原発からの避難車両による渋滞が発生するなど、避難や緊急輸送に支障が生じたことから、バイパスが早く事業化されますようお願いいたします。</li> </ul>
いわき市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針(原案)【案① バイパス案】に同意します。</li> <li>・本路線は、本市の復興を図る上で欠くことのできない路線であることから、速やかに整備されますようお願いいたします。</li> </ul>
北茨城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針(原案)について同意します。</li> <li>・一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間が、交通渋滞により市民の日常生活や経済産業活動に支障をきたしている点や、東日本大震災の際に冠水のため災害復旧に大きな支障を生じた点を踏まえ、早期にバイパス事業に着手されますようお願いいたします。</li> </ul>
高萩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針(原案)について同意します。</li> <li>・一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間は、広域避難道路等として役割を担う必要不可欠な道路でありますので、早期に事業着手されますようお願いいたします。</li> </ul>

## ◆自治体意見照会の回答〔福島県知事、茨城県知事〕

25道計第1377号  
平成26年2月6日

国土交通省東北地方整備局長 様

福島県知事



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

平成26年2月3日付け国東整道一計第57号にて照会のありました対応方針（原案）については、異議ありません。

一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間は、広域的な地域間交流等を促進すること及び東日本大震災を踏まえた災害時の避難や物資輸送路としての役割、リダンダンシ一の確保の観点から、機能強化が必要不可欠な道路であるため、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

（事務担当 土木部 道路計画課 技師 村山 024-521-7469（内線3558））

道維第698号  
平成26年2月7日

国土交通省  
関東地方整備局長 殿

茨城県知事



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

平成26年2月3日付け国関整道一計第32号により意見照会のあったことについて、下記のとおり回答いたします。

記

平成26年2月3日付け国関整道一計第32号にて意見照会のありました、一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間における対応方針（原案）について、異議ありません。

本区間においては、東日本大震災の際には津波による浸水で通行止めが生じたほか、福島第一原発からの避難車両による渋滞が発生するなど、避難や緊急輸送に支障が生じたことから、バイパスが一日も早く事業化されるよう、特段のご配慮をお願いいたします。

## ◆自治体意見照会の回答〔いわき市長、北茨城市長〕

25土第193号  
平成26年2月6日

国土交通省東北地方整備局  
磐城国道事務所長 様

いわき市長  
清水 敏男



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）  
（対2月3日付国東整備調第16号）

このことについて、一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間に係る東北地方整備局及び関東地方整備局としての対応方針（原案）＜案① バイパス案＞に同意します。

なお、本路線につきましては、本市の復興を図る上で、欠くことのできない路線でありますことから、速やかに整備されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

担当：いわき市土木部土木課道路計画係  
電話 0246-22-7482

北都第 215 号  
平成26年2月5日

国土交通省関東地方整備局  
常陸河川国道事務所長 様

北茨城市長 豊田 稔



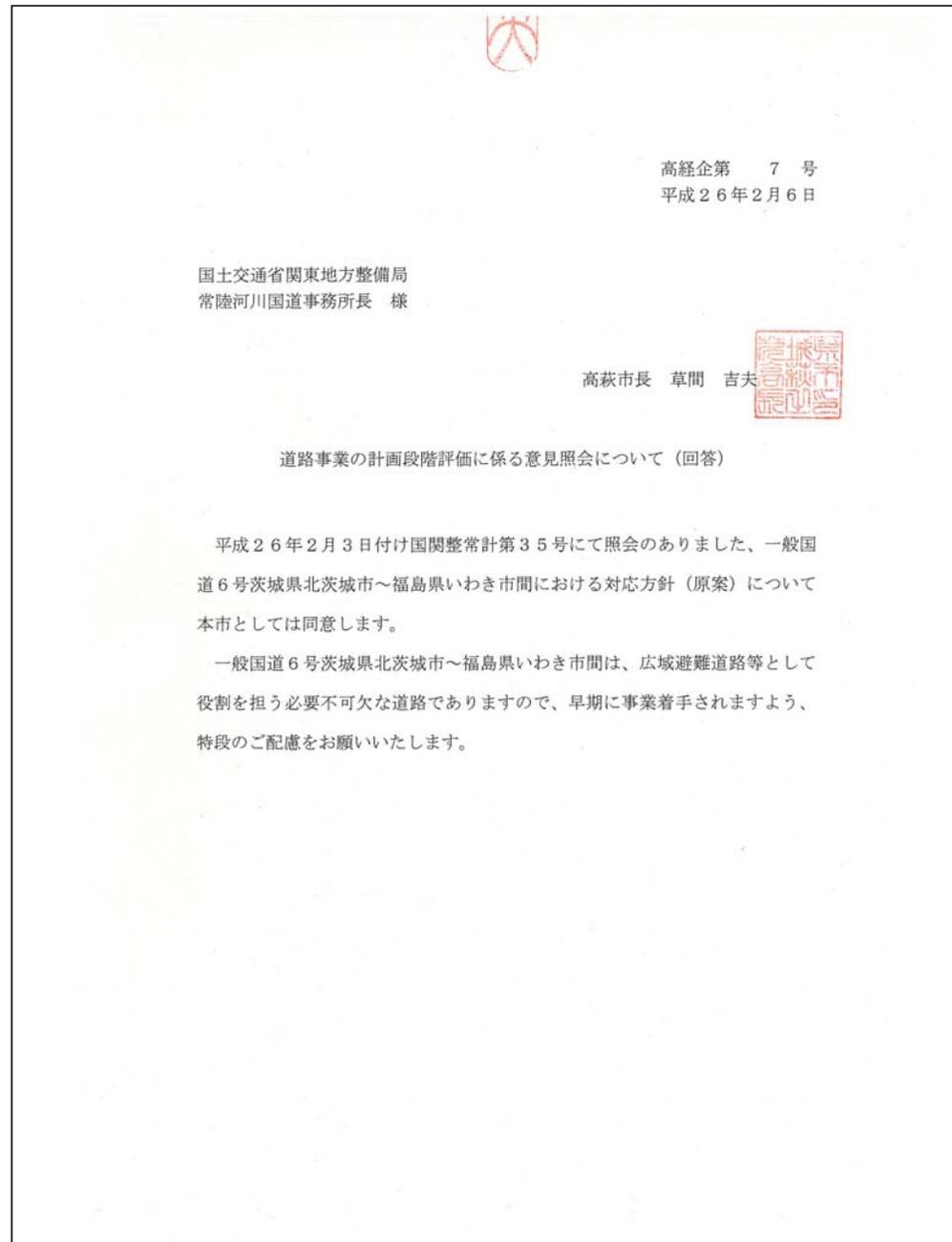
道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

平成26年2月3日付け国開整常計第34号にて照会のありました、一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間における対応方針（原案）について本市としては同意します。

現在の一般国道6号茨城県北茨城市～福島県いわき市間が、交通渋滞により市民の日常生活や経済産業活動に支障をきたしている点や、東日本大震災の際に、冠水のため災害復旧に大きな支障を生じた点を踏まえ、早期にバイパス事業に着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

〒319-1592 北茨城市磯原町磯原1630番地  
北茨城市都市建設部都市計画課 金沢 村田  
TEL 0293-43-1111(内281・282) FAX 0293-43-1108  
E-mail toshikei@city.kitaibaraki.lg.jp

## ◆自治体意見照会の回答〔高萩市長〕



## ◆対応方針（案）

- ・【案①】バイパス案とする。

### 〔理由〕

- ・【案①】バイパス案は、政策目標である渋滞解消、事故減少が図られ、医療施設への速達性が優れているとともに、津波浸水区間を回避した新たな代替路を確保できる。  
また、【案②】現道拡幅案に比べ、家屋移転・工事など生活環境への影響、経済性の面でも優れており、意見聴取で得られた地域のニーズにも応えられる。

◆国道6号の課題である主要渋滞箇所・津波浸水区間を回避し、事故減少を図り、救急医療施設への速達性が高いバイパスを整備

## 計画・ルートのお考え

- ⇒ 国道6号常磐バイパス起点部から(一)里根神岡上線を結ぶルート。
- ⇒ 主要渋滞箇所、津波浸水区域、既存市街地・集落等を回避し、大津港駅や北茨城市立総合病院(H26開院予定)へのアクセス性を考慮。
- ⇒ 道路構造は切土、盛土、一部トンネルが想定される。

